

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品名	マグネットバイク
製品番号	FB-890MHP II
製造番号	

お買い上げ日： 年 月 日

保証期間はお買いあげの日から1年です。

※ただし、業務用として使用した場合は6ヶ月の保証となります。

お名前
ご住所
電話番号

ご購入後、ご記入願います。ご記入のない場合、保証が受けられない場合があります。

- 取扱説明書の注意に従った正常な使用環境と使用状況で、万一品質上の不具合が発生した場合において、消耗品を除き、納入後1年間原則として販売店が保証修理致します。
- 保証修理は補修または部品の交換により実施し、これにより取り外された不具合部品は株式会社フジモリの所有物となります。
- 出張修理の場合は、出張費を請求する場合がありますので予めご相談下さい。
- 保証修理をお受けになる場合には、製品保証書の提示が必要となります。
- 保証期間内においても、保証書の提示がない場合は、無償修理の対象になりませんので保証書は大切に保管して下さい。
- 保証期間内であっても、次の場合は有償にての修理となります。
 - ・誤用、乱用及び取扱の不注意によるもの。
 - ・弊社が認めた技術者以外によって修理や改造をしたとき。
 - ・火災、水害、地震、落雷及びその他の災害、戦乱、争乱によるもの。
 - ・部品の通常の摩耗、又は、経年劣化。
 - ・運送途中、備え付け時と使用時に生じた傷、色の退色、及び外見上の変化。
 - ・機能に影響のない感覚的現象（音、振動など）。
- その他の保証対象免責事項
 - ・運送、販売の作業によって引き起こされた費用（備え付け、除去にかかる費用）
 - ・取扱説明書の遵守に従わない使用によって起きたあらゆる損害。
 - ・保証期間内中でも使用できなかった事による期間損失等の費用。
- 当社の全責任は、全ての環境下で本体の出荷価格を超えることはありません。なお、製造物責任法にかかる係争については、富山地方裁判所高岡支部を第1審裁判所と致します。
- 製品は日本国内の屋内施設の使用に限定し、この保証規定は日本国内の使用に限り有効です。

■商品に対するお問い合わせは、お買い求めの販売店にご相談ください。

販売店

輸入代理店



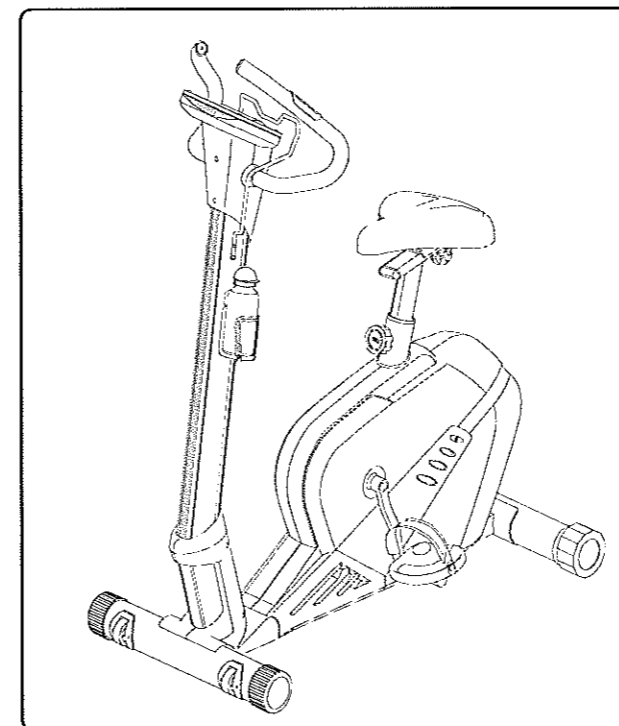
— Fitness & Bicycle —
株式会社フジモリ

〒933-0831 富山県高岡市若富町186
TEL 0766-21-0955 FAX 0766-21-0957
E-mail fitness@fujimori-r.com
URL http://fujimori-r.com

アフターサービスのお申し込みはお買い上げの店へ

REMARK
MAGNETIC BIKE FB-890MHP II

取扱説明書



目次

- 安全にご使用いただくために…………… 1
- 各部の名称と働き…………… 2
- 部品一覧表…………… 3
- 組立方法…………… 4～7
- 電源のオン/オフ、サドルの前後調整について…………… 8
- パネルについて…………… 9～10
- 各トレーニングモード設定方法…………… 11～13
- トラブルが起こったら…………… 14
- 製品仕様…………… 14
- 保証書…………… 15

家庭用

このたびは本製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくお使いいただくために、ご使用前には必ずこの説明書をお読み下さい。取扱説明書はお読みになった後も大切に保管して下さい。

在日外国人の方はこの取扱説明書を通訳できる方から説明を受けて下さい。

For your safety and comfort. If you are alien who live in japan, please ask someone who understand this manual to make detailed explanation for you.

◇安全にご使用いただくために・お手入れ上の注意

「安全にお使いいただくために」はご使用前に、よくお読みのうえ、正しくお使いください。

安全にお使いいただくために

- ①ご使用前に各部のボルト・ナットが完全に固定されているか、ゆるみやガタつきがないか確認して下さい。
- ②本製品の使用は健康な方を対象としています。
- ③トレーニング中に、めまいや吐き気、その他身体に異常を感じたら、直ちにトレーニングを止めて下さい。また、体調がすぐれないと感じたときは、トレーニングを控えて下さい。
- ④リハビリテーションでの目的で使用される場合は成人（健常者）の方の介添えの上でご使用下さい。
- ⑤ご使用の際は、運動に適した服装、シューズを着用して下さい。
- ⑥トレーニングを始める前には、十分なストレッチやウォーミングアップを行って下さい。
- ⑦飛び乗り、および飛び降り、横向きや後ろ向きでの使用、複数人での使用もお止め下さい。
- ⑧本機にお子様を乗せたり、いたずらをさせないようにご注意下さい。
- ⑨本機の上に絡みやすいものを置いたり、操作部や手すりにタオル等をかけての使用は、本体に巻き込まれる恐れがありますのでお止め下さい。
- ⑩本機の電子部品に水をかけたり、濡らしたり、特に湿気の多い場所では使用をしないで下さい。
- ⑪平坦な床面に安定した状態で設置し十分に動けるスペースをとって使用して下さい。また、ご使用にあたっては、周りに人（特に幼児）のいないことを確認して下さい。
- ⑫体重100kg以上の方は使用しないで下さい。
- ⑬本来の目的以外での使用は絶対にしないで下さい。
- ⑭本機の分解・修理・改造は絶対にしないで下さい。
- ⑮本機は基本的に家庭用の屋内で使用するための製品であり、屋外での使用は保証の対象外となります。
学校など不特定多数の方のご使用による業務用使用の場合は6ヶ月の保証となります。
- ⑯本機の連続使用時間の目安は約1時間です。それ以上の使用は故障の原因となります。



お手入れ上の注意

- ①汚れや使用後に付いた汗等は、石鹸水を含ませて良くしぼった布で拭き、その後乾いた布で拭いて下さい。
- ②水をかけたり、シンナー・ベンジン等で拭かないで下さい。
- ③油の塗布、及び注油は行わないで下さい。

◇トラブルが起こったら・製品仕様について

ご使用中に、異常が発生した場合は、次の点をご確認下さい。
それでもトラブルが解消しなければ、お求めの販売店・代理店までご連絡下さい。

トラブル内容	対処方法	手順参照
●表示パネルが作動しない	乾電池の+、-を確認して下さい。	P. 8
	パネルの各コードの接続部をもう一度ご確認下さい。	P. 4(図3)、P. 6(図10)
	乾電池を新しいものと交換して下さい。	P. 8
●表示が薄い	乾電池を新しいものと交換して下さい。	P. 8
●ペダルが取付けられない	ペダルの右、左を確認して下さい。	P. 7(図12)
	ペダルを締めこむ方向を確認して下さい。	P. 7(図12)
●脈拍数が測定できない	両手でしっかりとセンサーを握って下さい	P. 2③
	乾電池を新しいものに交換して下さい。	P. 8
	パルス用のコードの接続をご確認下さい。	P. 6(図10)
●ペダルを漕ぐと異音がある	ペダルの締め付け不足の可能性があります。 強く締め付けてください。	P. 7(図12)

製品仕様について

製品の仕様及び外観などは改良のために、予告なしに変更することがあります。

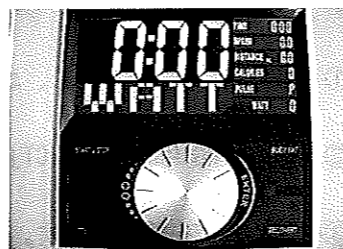
品名	家庭用マグネットバイク
品番	FB-890MHP II
形式	モーターコントロール負荷方式エクササイズバイク
カラー	本体（パールメタリックシルバー／グレー）
負荷方式	マグネット負荷モーターコントロール（16段階）
本体サイズ	1065（L）×610（W）×1395（H）mm
材質	スチール鋼管 ABS／PP樹脂
使用電源	2WAY方式（AC100V電源アダプター／単2電池4本）
使用体重制限	100kg
本体重量	38kg
使用室内環境	温度：6℃～40℃ 湿度：80%以下
生産国	台湾

◇各トレーニングモードの設定方法（3）

【6. 定ワットトレーニングモード (WATT)】（パネル表示は、" WATT"）

定ワットトレーニングは運動中、ペダルの回転数が変わるとペダルの重さをコンピュータが自動的にペダル負荷を増減し、運動量（ワット数値）を一定に保って運動ができます。

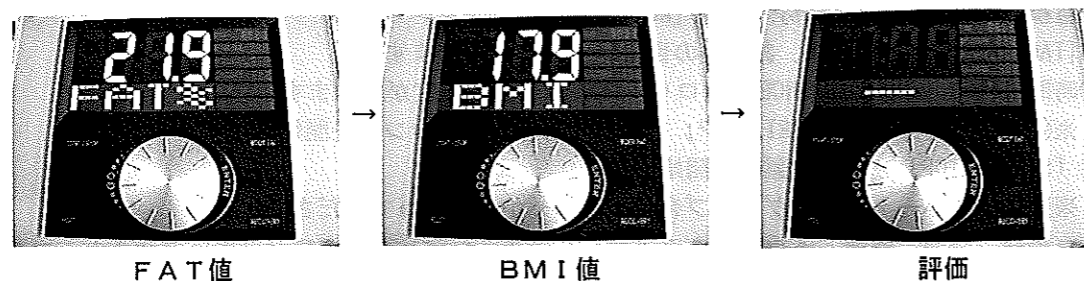
- ①「RESET」ボタンを押し、ユーザー設定を行います。
- ②「TRAINING MOODE SELECT」で「WATT」を選択します。
ファンクションダイヤルを回して設定ワット値を設定します。
初期値：120、設定範囲：10～350
※途中で「START/STOP」を押しても、その前の入力時点でエクササイズが始まります。
- ③「START/STOP」ボタンを押し、エクササイズを開始します。
※エクササイズ中にファンクションダイヤルを回してもペダル負荷を変更することができます。
- ④エクササイズを終了する時は「START/STOP」を押すか、ペダルの回転を停止してください。



【7. BODY FAT 測定機能について】

体脂肪率 (FAT 値)、BMI 値を測定します。

- ①「RESET」ボタンを押し、ユーザー設定を行います。
- ②「TRAINING MODE SELECT」時に、「BODY FAT」ボタンを押します。
- ③バー表示が交互している時にハートレートグリップを握ると、ドットカウント画面に切替わります。
- ④ドットカウントが完了すると、測定値が表示されます。
測定結果の体脂肪率 (FAT)、BMI 値、評価を繰り返し表示します。
- ⑤表示を確認されましたら、もう一度、「BODY FAT」ボタンを押すと、元の画面に戻ります



評価表

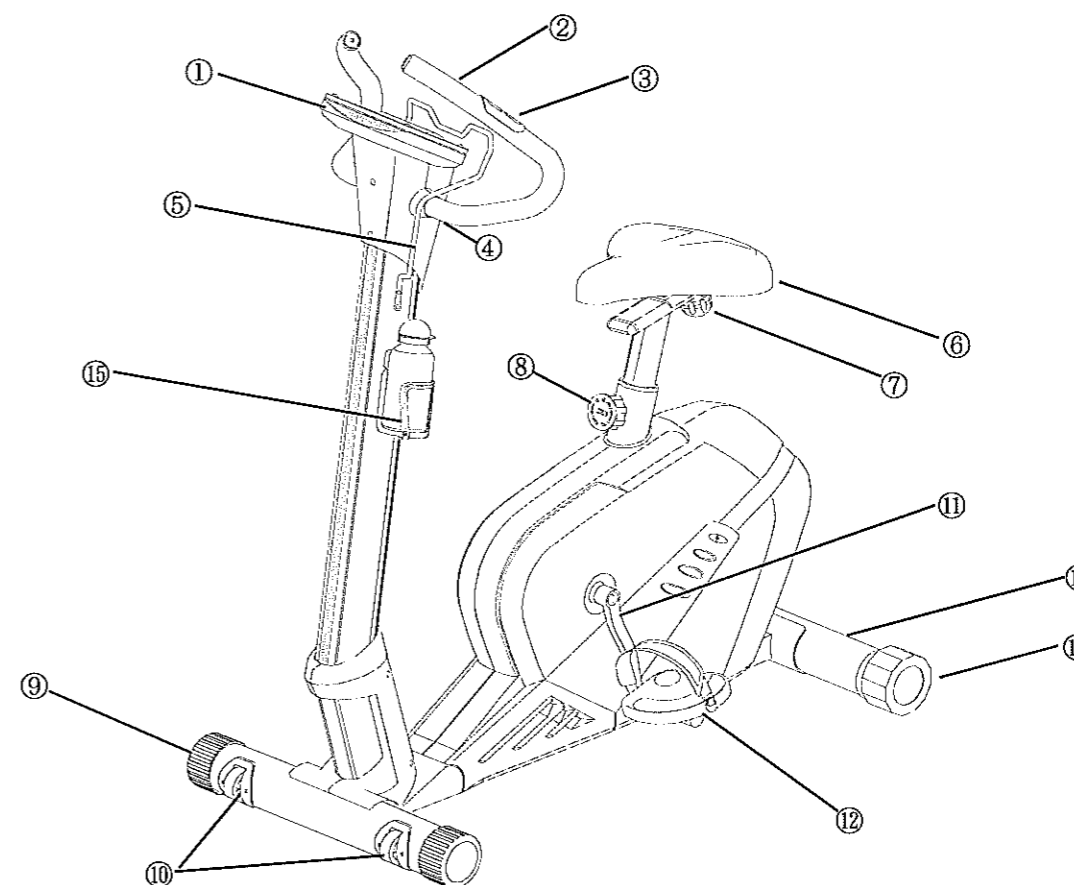
評価	— 低い	+ 標準	△ やや高い	◇ 非常に高い
男性	13% 以下	13%-25.8%	26%-30%	30% 以上
女性	23% 以下	23%-35.8%	36%-40%	40% 以上

※バー表示が交互している時にハートレートグリップを握らないと、エラーメッセージ" E-1" を表示します。

※上記の項目は換算推定値であり、目安程度にご使用下さい。

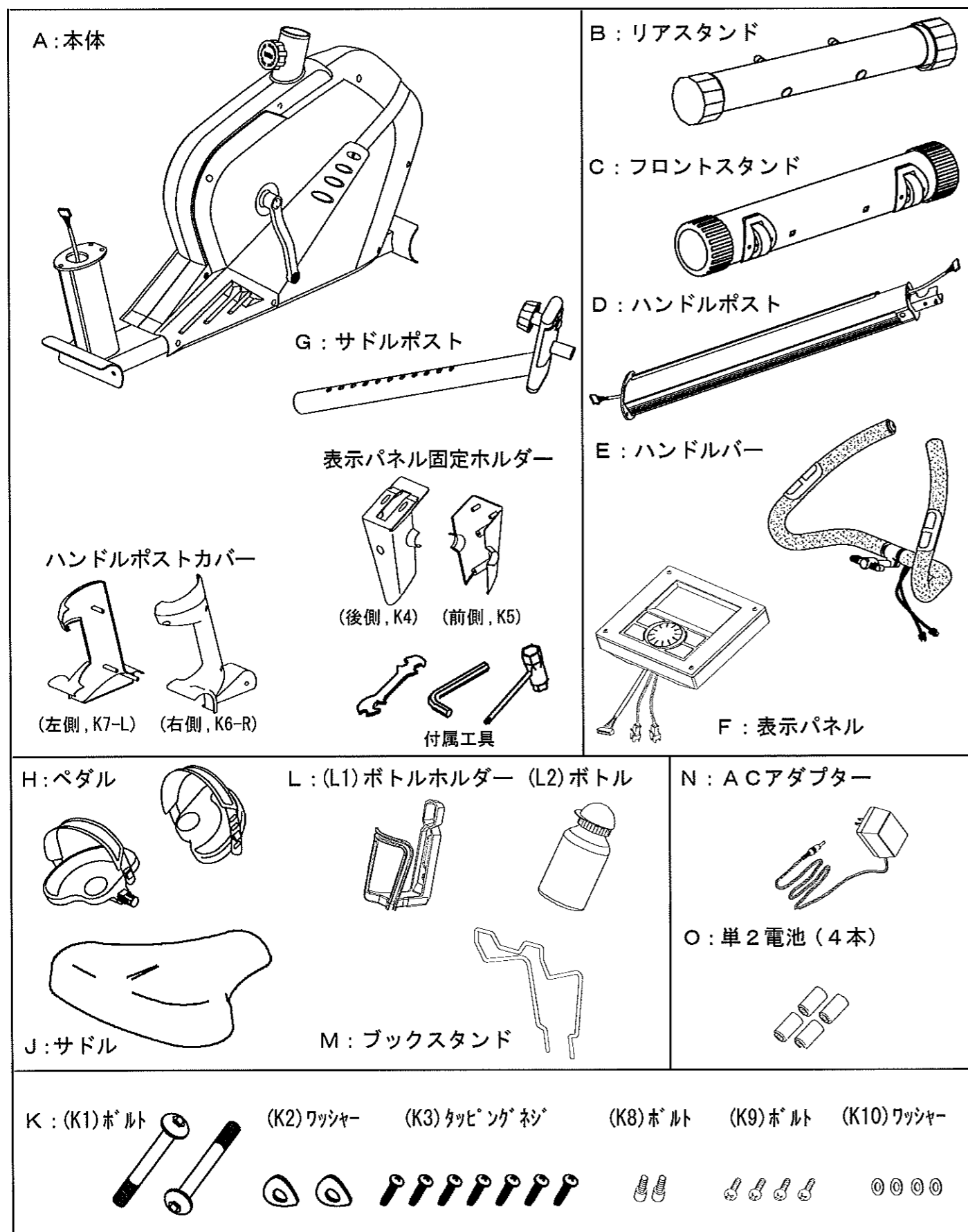
BMI (BODY MASS INDEX: 体格指数) とは・・・体重と身長のパランスをチェックして外見的な肥満度を調べる指数です。 $BMI = \text{体重 (kg)} \div \text{身長 (m)}^2$

◇各部の名称と働き



名 称	説 明
①表示パネル	各トレーニングモードの設定やエクササイズのデータを表示します。
②ハンドルバー	エクササイズ中は必ずしっかりと握って下さい。
③ハートレートグリップ	両手で握ると脈拍数がパネルに表示されます。
④ハンドル角度調整ノブ	ハンドルバーの角度の調整をします。
⑤ブックスタンド	本立てです。
⑥サドル	運動中に座る部分です。
⑦サドルスライドノブ	サドルの前後位置の調整をします。
⑧サドル高さ調整ノブ	サドルの高さ調整をします。
⑨フロントスタンド	前側のスタンド
⑩移動用キャスター	本体を移動する時に使用します。 本体後方を持ち上げると楽に移動できます。
⑪クランク	
⑫ペダル	
⑬リアスタンド	後側のスタンド
⑭水平調整アジャスター	水平調整を行う時に使用します。左右をそれぞれ回転させて調整します。
⑮ボトルホルダー	ドリンクボトルを置けます。

◇部品一覧表

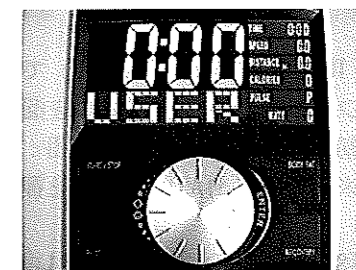


◇各トレーニングモードの設定方法 (2)

【4. ユーザーモード (USER)】 (パネル表示は、" USER ")

自分でプログラムを作成し、目的にあったプログラムで運動するモードです。
16段階のペダル負荷を設定することができます。

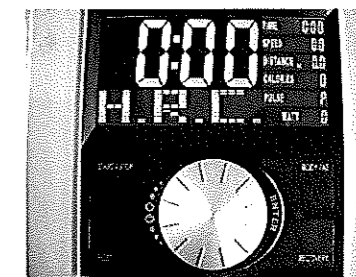
- ①「RESET」ボタンを押し、ユーザー設定を行います。
- ②「TRAINING MOODE SELECT」で「USER」を選択します。
- ③ペダル負荷を設定します。(16段階×20ブロック)
ファンクションダイヤルを回して1ブロック目のペダル負荷を選択します。
「ENTER」を押すと次ブロックへと進んでいきます。
この作業を繰り返し20ブロックまで設定します。
※途中で「START/STOP」を押しても、その前のブロックから運動が始まります。
- ④「START/STOP」ボタンを押し、運動を開始します。
※運動中にもペダル負荷を変更することができます。
※1ブロックの運動時間は約30秒です。
- ⑤運動を終了する時は「START/STOP」を押すか、ペダルの回転を停止してください。



【5. ターゲット脈拍モード (TARGET H. R. C)】 (パネル表示は、" H. R. C. ")

ターゲット脈拍モードは年齢を入力すると、コンピュータがエクササイズに最適な脈拍数を自動計算し、その脈拍数に近づくようにペダル負荷が自動的に変化し運動するモードです。

- ①「RESET」ボタンを押し、ユーザー設定を行います。
- ②「TRAINING MOODE SELECT」で「H. R. C.」を選択します。
- ③目標脈拍数を[TAG], [50%], [75%], [90%]より選択します。
[TAG]を選択した場合は、お好みの目標脈拍数を入力します。
- ④時間[TIME], 距離[DISTANCE], カロリー[CALORIES]の設定ができます。
※④の設定をせず、「START/STOP」を押しても各表示カウントを開始します。
- ⑤「START/STOP」を押して運動を開始します。
※運動中はハートレートグリップを両手でしっかりと握ってください。
目標値(時間、距離、カロリー)を設定した場合、いずれかの項目が目標に達すると、アラームが鳴り終了します。



○目標脈拍数の設定目安

- [90%]・・・最高脈拍数(220-年齢)【最高脈拍数×90%】
- [75%]・・・標準的な有酸素運動【最高脈拍数×75%】
- [55%]・・・軽度の運動【最高脈拍数×55%】
- [TAG]・・・使用者の任意設定運動

※自分の心臓が1分間に打てる限界が最高脈拍数です。
一般的に目標脈拍数は、最高脈拍数の55%から75%を目標とします。
50%以下ですと心肺機能を高めることはできず、75%以上ですと体力的にきついと云われます。
例えば40歳の人ですと、99から135の心拍数が目標となります。

◇各トレーニングモードの設定方法（1）

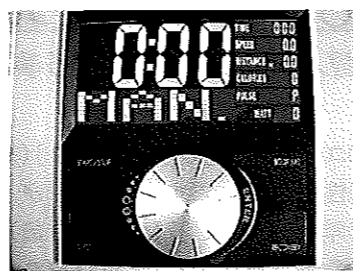
【1. クイックスタート】

- ①「RESET」ボタンを押し初期画面にした状態で、「START/STOP」を押すと「TIME」がカウントを始めます。
- ②ペダルを漕ぎ始めると、他の項目もカウントを始めます。
※「START/STOP」を押さないと、ペダルを漕いでいても各表示値はカウントを始めません。
- ③ファンクションダイヤルを回しペダル負荷値を変更します。

【2. マニュアルモード (MANUAL)】 (パネル表示は、"MAN.")

プログラムを設定せず、自由に運動するモードです。

- ①「RESET」ボタンを押し、ユーザー設定を行います。
- ②「TRAINING MODE SELECT」で「MAN」を選択します。
- ③「LOAD SET」でペダル負荷を任意に変えます。
ファンクションダイヤルを回しペダル負荷値を変更します。
- ④「START/STOP」を押し、運動を開始します。



【3. プログラムモード (PROGRAM)】 (パネル表示は、"PROG")

12種類のプログラムから選択して、運動するモードです。自動でペダル負荷が増減します。運動中の負荷変更も可能です。

- ①「RESET」ボタンを押し、ユーザー設定を行います。
- ②「TRAINING MODE SELECT」で「PROG」を選択します。



※プログラムパターンは下図を参考にしてください。

P01	P07
P02	P08
P03	P09
P04	P10
P05	P11
P06	P12

- ③初期負荷の設定を行います。初期の負荷に合わせてパターンが変化していきます。
- ④「START/STOP」を押し、運動を開始します。
※目標値を設定した場合は、いずれかの項目が目標に到達するとアラームが鳴って止まります。
- ⑤運動を中断したいときは、「START/STOP」又は、ペダル動作を停止してください。

◇組立方法（1）

※組立をする前に全ての部品が入っているかご確認下さい。

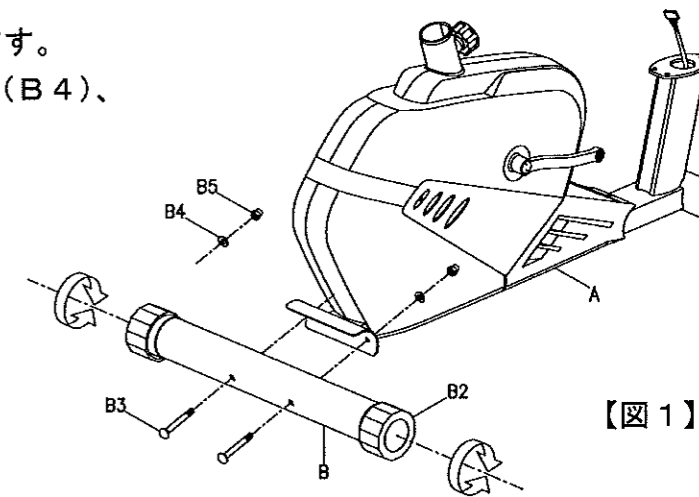
本機には重い部品や鋭利な部分がありますので、成人が組み立ててください。

組立ての際は、軍手等を着用してください。

- ①本体 (A) にリアスタンド (B) を取付けます。
リアスタンドをボルト (B3)、ワッシャー (B4)、ナット (B5) で取付位置に固定します。

※ボルト、ワッシャー、ナットはあらかじめ本体に仮止めされています。

【組立て 図1参照】

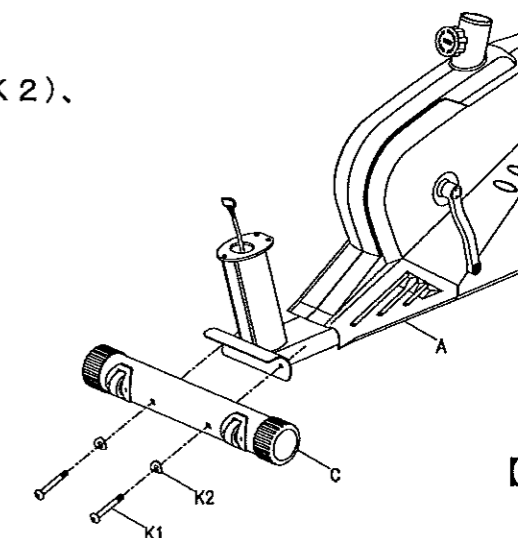


【図1】

- ②フロントスタンド (C) を取付けます。
フロントスタンドをボルト (K1)、ワッシャー (K2) で本体 (A) の取付位置に固定します。

※ボルト、ワッシャーは小袋に入っています。

【組立て 図2参照】

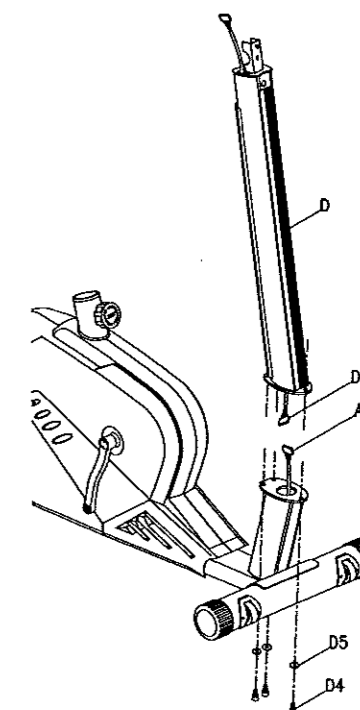


【図2】

- ③ハンドルポスト (D) を取付けます。
最初にコードを接続します。
(D2) と (A8) を確実に接続します。
接続したコードを挟まないように注意して、ハンドルポスト部 (D) を本体に取付けます。
図のようにセットし、ボルト (D4)、ワッシャー (D5) で固定します。

※ボルト、ワッシャー、ナットはあらかじめフロントスタンドに仮止めされています。

【組立て 図3参照】



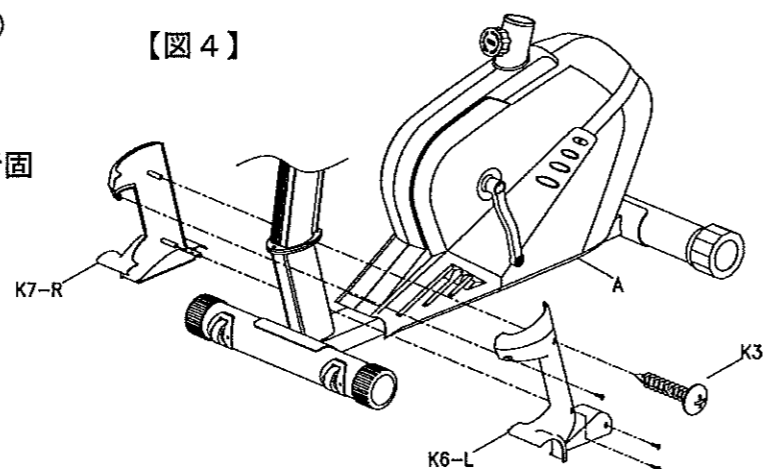
【図3】

◇組立方法（2）

- ④本体（A）にハンドルポストカバー（K6-L）（K7-R）を取付けます。

ハンドルポストカバーを図4のように取付け位置にセットし、タッピングネジ（K3）で4箇所固定します。

【組立て 図4参照】

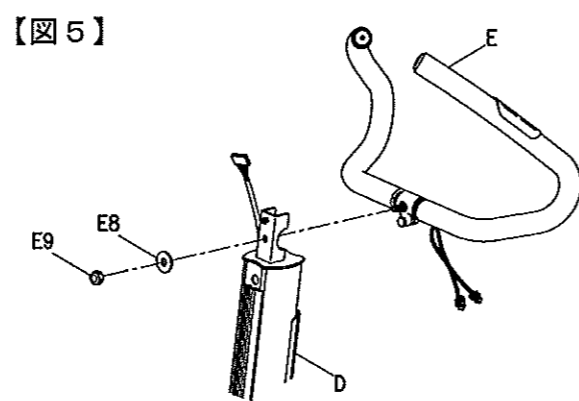


- ⑤ハンドルバー（E）を取付けます。

図5のように取付け部にハンドルバーをセットし、ナット（E9）、ワッシャー（E8）で固定します。その際、ハンドルバーから出ているコードや本体のハンドルポストから出ているコードを挟まないように御注意下さい。

※ナット、ワッシャーはあらかじめハンドルバーに仮止めされています。

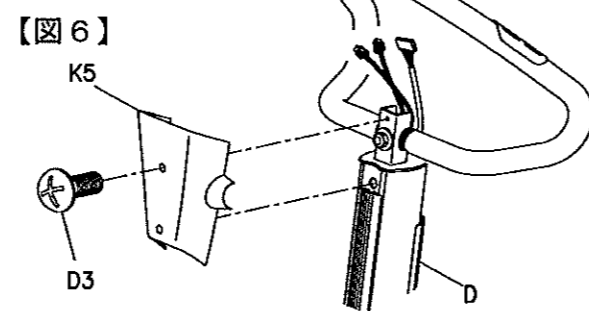
【組立て 図5参照】



- ⑥表示パネル固定ホルダー（K5）を取付けます。

図6のようにパネル部固定ホルダー（前側）を取付け位置にセットし、ネジ（D3）で固定します。

【組立て 図6参照】



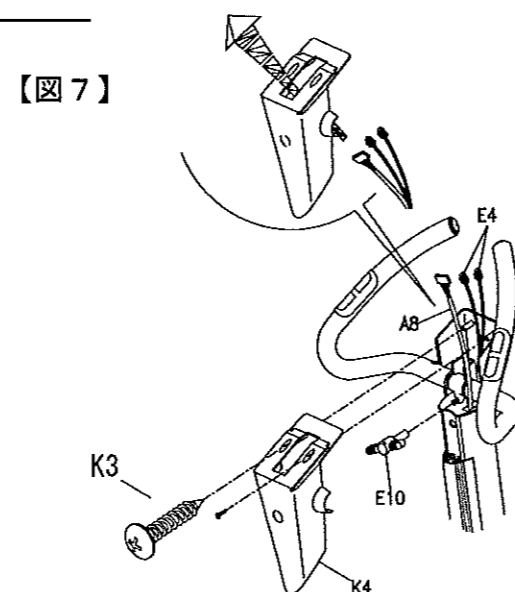
- ⑦パネル部固定ホルダー（K4）を取付けます。

図7のように取付け位置に固定します。その際にパルス用のコード2本（E4）、表示パネル用のコード1本（A8）を穴から通して下さい。

⚠ コードを挟まないように御注意下さい。

各コードを通したら、表示パネル部固定ホルダー（K4）を固定します。タッピングネジ（K3）で固定します。（2箇所）

【組立て 図7参照】



◇パネルについて

○カレンダー、時計の設定について

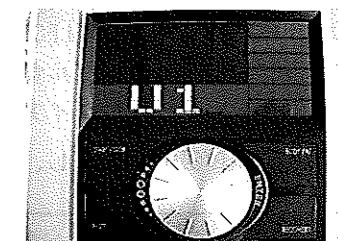
この表示は、使用していない時に常時日付、時計、現在温度を表示します。

- ①表示パネルの裏蓋を開け電池を外し、再度入れ直します。
- ②そうすると、右上の表示が"2006"で点滅しておりますので、ファンクションダイヤルを回して選択し「ENTER」ボタンを押して決定します。
- ③[年]→[月]→[日]→[時間]の順で入力します。
※間違えた場合は、再度電池を外し、やり直してください。

○ユーザー設定について

個人データを入力する事により、そのデータを考慮した消費カロリー、HRC機能が使えます。

- ①ユーザーは[U1]～[U9]（9人分）まで設定ができます。
- ②性別選択します。（男：♂ / 女：♀）
- ③年齢[AGE]（1～99歳）を入力します。（初期値：30歳）
- ④身長[HGT]（100～200cm）を入力します。（初期値：169cm）
- ⑤体重[WGT]（20～150kg）を入力します。（初期値：72kg）



図は[U1]・・・ユーザー1

○目標値の設定について

- ①「RESET」ボタンを押し、全ての数値をリセットし初期状態に戻します。
- ②ユーザー選択し、「ENTER」ボタンで進んでいき、体重入力後に「TIME 0:00」が点滅致しますので、[TIME]、[DISTANCE]、[CALORIES]、[PULSE]の項目のうち目標値を設定したい項目を「ENTER」ボタンで順送り選択し、ファンクションダイヤルを回して設定値を入力します。
※点滅している項目に、目標値を入力します。
- ③目標値を入力してから、運動を始めると目標設定した項目が減算表示します（脈拍数以外）
- ④目標値に到達するとアラームで知らせます。その後は加算表示されます。

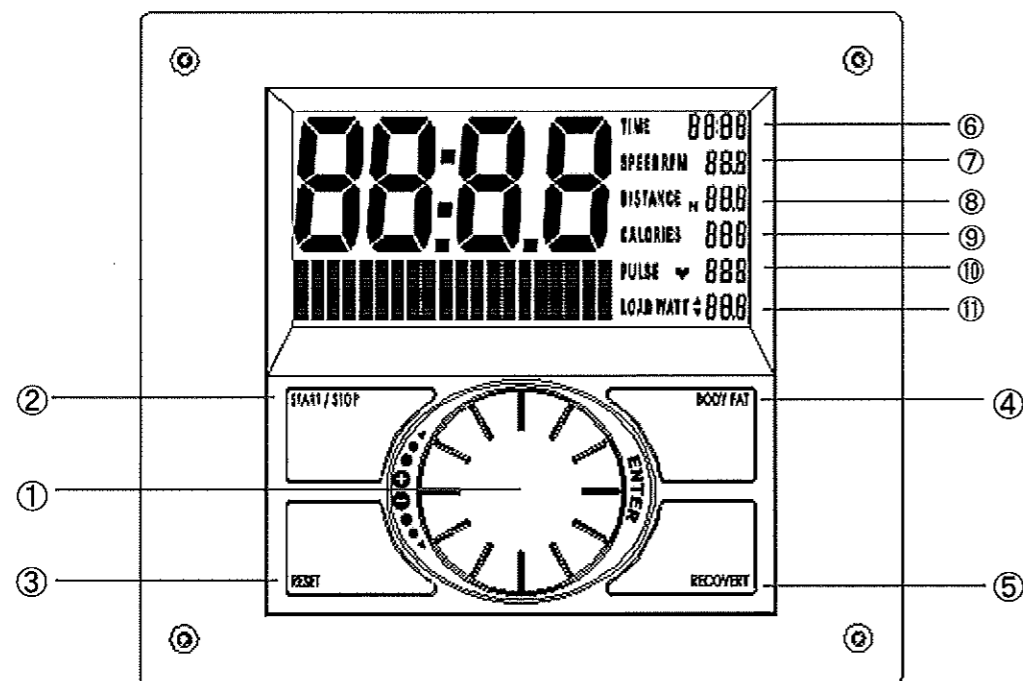
※目標値に脈拍数を設定した場合、脈拍数が目標値を超えている間、常にアラームが鳴ります。目標値は複数の項目で設定可能です。その場合、いずれかの項目が目標値に到達する度に、アラームが鳴ります。

○リカバリー機能について

リカバリー機能によるトレーニング直後と回復後の脈拍数を比較する事は、運動能力及び回復力を手軽に判定するのに有効な手段です。運動を定期的に継続していくと評価が向上します。

- ①運動終了後に「RECOVERY」ボタンを押します。
- ②コンピューターが60秒間脈拍数を測定しますので、ハートレートグリップを握ったまま、静かにお待ちください。この間、時間は60秒をカウントダウン表示されます。
- ③運動終了時の脈拍数と、60秒後の脈拍数を比較し脈拍数の回復力を[F1]～[F6]で評価し、表示します。回復能力は[F1]が最も優れ、[F6]が最も劣ります。
- ④表示を確認されましたら、もう一度、「RECOVERY」ボタンを押すと、元の画面に戻ります。

◇パネルについて



ボタンについて

- ①ENTER
各項目の決定時に使用します。
※運動中にボタンを押すと常時表示したい項目を選択し固定ができます。
各目標設定時に目標数の増減を操作します。時計回り「+」に回すと数値が増え、反時計回り「-」に回すと数値が減ります。
※運動中に回すとLOAD（負荷レベル）を増減します。
LOAD（負荷レベル）：16段階調整
- ②START/STOP
運動のスタート/ストップ時に使用します。
- ③RESET
表示をリセットする際に使用します。
長押し（約3秒間）すると、初期画面となります。
- ④BODY FAT
FAT値（体脂肪率）、BMI値を測定します。
- ⑤RECOVERY
運動終了後に体力診断を行う時に使用します。



各表示について

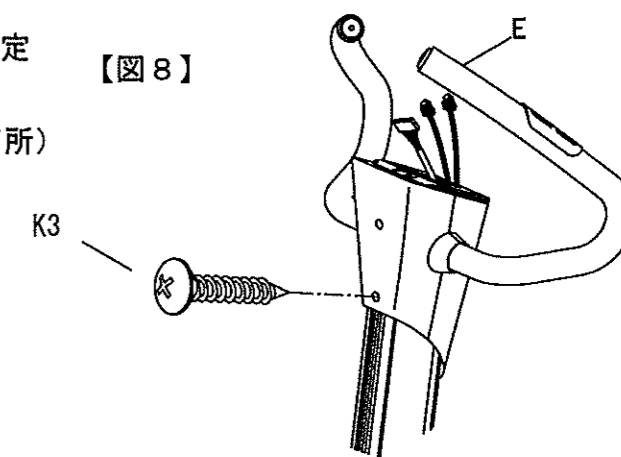
- ⑥TIME
運動時間を表示します。（表示範囲＝00分00秒～99分59秒）
- ⑦SPEED・RPM
運動中のスピードと回転数を交互に表示します。（km/h・RPM）
- ⑧DISTANCE
走行距離を表示します。（表示範囲＝0.00～99.90km）
- ⑨CALORIES
消費カロリーを表示します。（0～990Kcal）
- ⑩PULSE
脈拍値を表示します。
- ⑪LOAD・WATT
運動中のペダル負荷値とワット値を交互に表示します。

※上記の項目は換算推定値であり、目安程度にご使用下さい。

◇組立方法（3）

- ⑧表示パネル固定ホルダー（K5）の前側下部を固定します。
タッピングネジ（K3）で固定して下さい。（1箇所）

【図8】



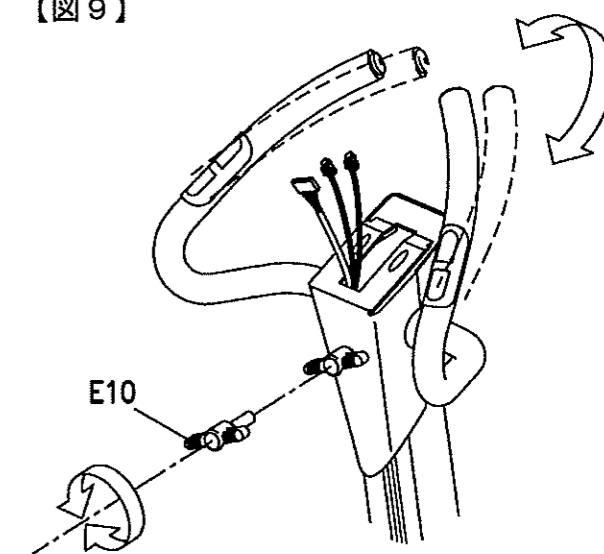
【組立て 図8参照】

- ⑨ハンドル角度調整ノブ（E10）を取付けます。
図9のようにノブを取付け位置にセットします。
最初、軽く回して入っていくことを確認してから、しっかりと締付けて下さい。

【図9】

⚠ 真っ直ぐにノブを締めないと、ネジ山が破損する場合がありますので御注意下さい。

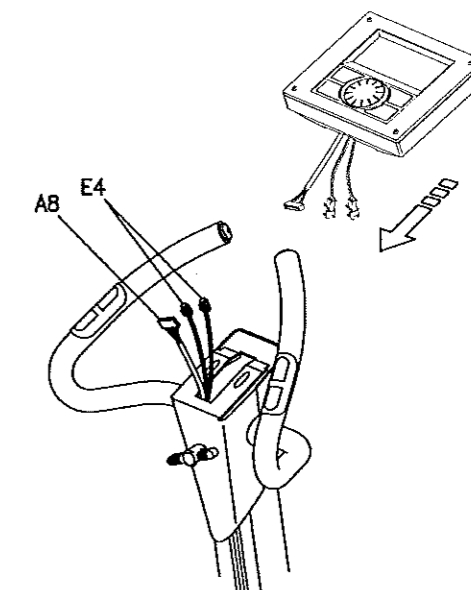
強く締付けますとハンドル角度が固定されます。
お好みの角度に合わせて固定して下さい。



【組立て 図9参照】

- ⑩表示パネルを取付けます。
図10のように表示パネル（F）から出ている3本のコードとハンドルポスト（D）から出ている3本のコードをそれぞれ接続します。
2本ある同じコード（E4）はパルス用のコード（左右は関係ありません）。1本のコード（A8）は表示パネル用のコードです。
※全てカチッとなるまで確実に接続します。
その後、表示パネルの裏面の溝とパネル固定ホルダーの溝を合わせ、スライドさせて固定します。

【図10】



⚠ この時、コードは挟まないように注意下さい。

【組立て 図10参照】

◇組立方法（４）

⑪サドルポスト（G）を取付けます。

サドルポスト（G）を図11のように固定位置に挿入します。サドル高さ調整ノブ（A 1 1）を緩め、右図のように手前に引き、高さを調整します。

※お好みの高さに合わせて固定します。

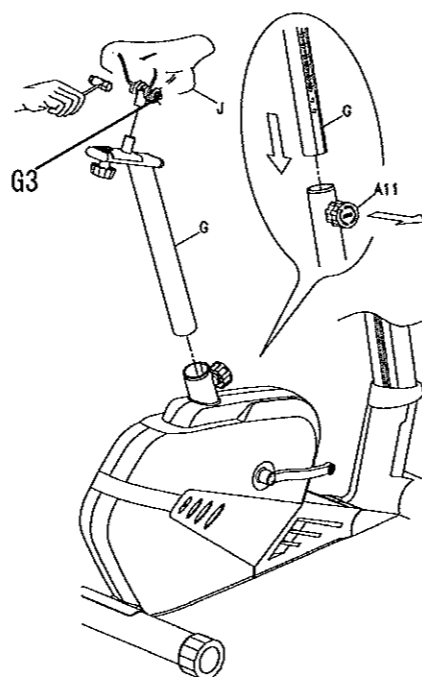
固定の際は、右回りに回すと完全に固定します。

⑫サドル（J）を取付けます。

右図のようにサドル取付け位置に、サドルの穴を合わせます。そして、サドルを水平に調整しサドル下部のナット（G 3）を締めて固定します。

【組立て 図11参照】

【図11】



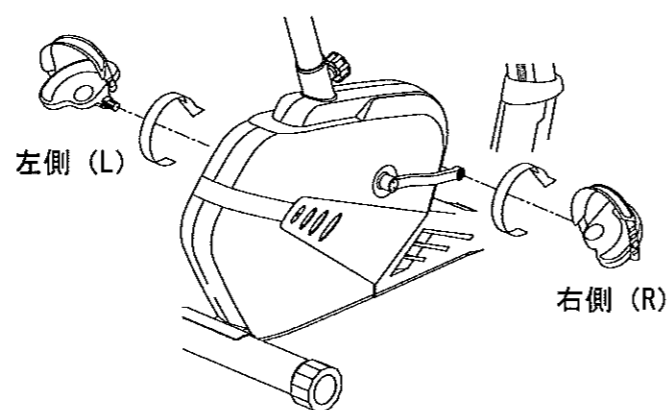
⑬ペダル（H）を取付けます。

ペダルの軸に右（R）、左（L）が刻印してありますので、間違わないように注意して取付けて下さい。 【組立て 図12参照】

※右ペダルは右回し、左ペダルは左回し（逆ネジ）です。最初は指でネジ山の付け根をを持って、ネジ穴にまっすぐに合わせ2～3回転回してください。その後、付属の工具でしっかりと固定してください。（締め付けが弱いと異音が発生します）

※この時ネジ山が合っていないまま締め付けると、ネジ山が壊れる事がありますのでご注意ください。

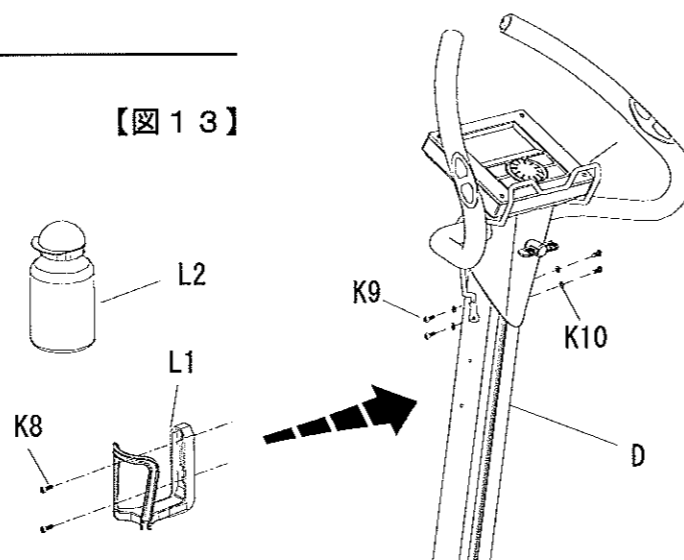
【図12】



⑭ハンドルポスト（D）の左側中間部にボトルホルダー（L1）をボルト（K8）2箇所固定します。

次にブックスタンド（M）をハンドルポスト（D）にボルト（K9）、ワッシャー（K10）各4箇所固定します。

【図13】



以上で組立ては完了です。全てのパーツが取付けてあるか確認して下さい。

◇電源オン/オフ、サドルの前後調整について

【電源のオン/オフ】

表示パネルの電源は、ACアダプター（N）を接続していただくか、単2乾電池4本（O）を表示パネルに入れます。（2WAY方式ですので、いずれかを接続すると電源が入ります）

①ON

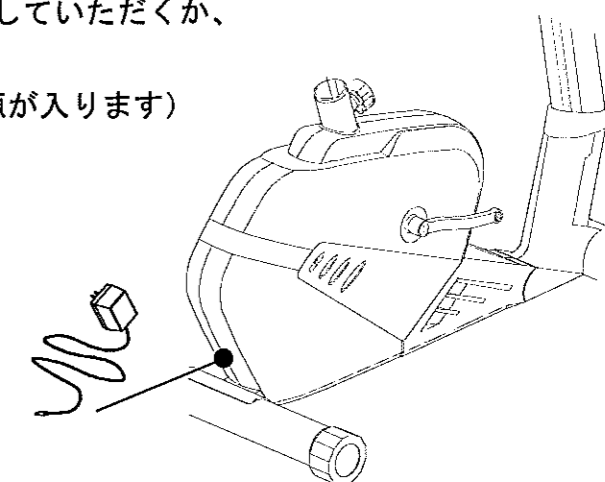
パネルのいずれかのボタンを押すか、ペダルを漕ぐと電源が入ります。

②OFF

このマシンはオートオフ機能付ですので、運動終了後約4分後に自動的に電源が切れます。

※付属している乾電池はテスト用です。

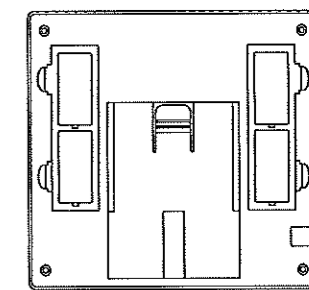
表示が薄くなりましたら、市販の新しい電池に交換して下さい。



【電池の交換方法】

表示パネルの裏側にある電池ボックスのカバーを開けて交換して下さい。（市販の単2電池×4本）

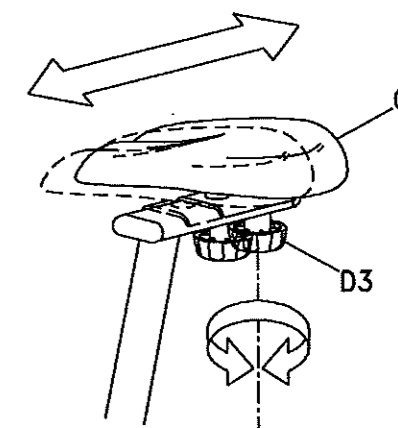
※+、-を間違えないように入れてください。



【サドルの前後位置の調整について】

本製品はサドルの前後位置調整を行うことができ、お好みの位置に合わせて、エクササイズが可能です。前後位置調整ボルト（D3）を緩め、サドルを前後にスライドさせ、お好みの位置で前後位置調整ボルトを締めます。

⚠ この動作は、必ずバイクより降りて作業して下さい。



【バイクの移動方法】

バイクを移動させる際には、フロントスタンドにキャスターがついていますので、ハンドルバーの中心部または、リアスタンドを持ち上げて移動します。

※ハンドルバーの端（上部）を持って行くと、ハンドル角度調整部の山が壊れ、ハンドルバーが固定できなくなる恐れがあります。

